

令和5年度 1学期始業式 式辞

これから始まる1年のスタートに当たり、今日は、みなさんに伝えたいことが1つあります。

ものを大切に作る気持ちとともに、「人を大切に」してほしいということです。今日登校して、新しい学級発表がありました。

「これまでから知っている友達と同じクラスだった」、と思った人もいるでしょう。

「でも、あまり知らない、話したことがない」、友達もきつというはずです。その人は、どんな人でしょうか。

知らない相手を理解しようとしても、どんな人かは、なかなかわからないものです。それは人が見える範囲は限られているからです。

「では、人をよく知るために、どうすればよいですか？」

(中略)

まずは、その人の変化に「気付いて」あげてください。小さな変化は、うれしいことがあったのかも知れませんが、もしかして困っているかも知れません。そのときは、さりげない、カッコいい声かけをお願いします。私は、人の小さな変化に気づける人ほど「やさしい心」の持ち主だと思っています。

先週、野球部の生徒だったと思います。昨年までの校長先生の車がとめられていたところに、違う車が止まっていたことに気づいたのでしょう、私に「新しい校長先生」と声をかけてくれました。変化に気づき、声に出してあいさつしてくれた姿に触れ、とてもうれしく思いました。

それから、今日は、「人を大切に作る」と言いましたが、大切に作る「人」の中には自分も含めてもらいたいと思います。つまり、自分も大切にすることです。自分の心に元気がなければ、人に対して思いやりや優しさも十分ではなくなります。

「自分を大切に、人を大切に」できる勝山中生の、この1年のがんばりを祈念し、式辞とします。

令和5年4月11日

向日市立勝山中学校 校長 田邊 忠和